

1 課 題

別紙のとおり

2 応募方法

(1) 応募できる作品数

課題ごとに各学校で審査した作品の中から、優秀作品を全・定課程別で3点以内とする。

(2) 作品送り状の事前登録方法

平成29年10月1日(日)～11月10日(金) 16:00迄に所定事項を記載し、メールで作品送り状を事前登録する。「事前登録先 seizu.con@gmail.com」

※確認返信メールが届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

- ① 作品送り状の入手：本研究会のホームページよりダウンロードする。
- ② 登録後、変更があった場合は、期限内に再度登録してください。
- ③ 事前登録しても作品が受付締切日迄に届かない場合は、応募を取り消す。

(3) 作品図面の提出方法

課題ごとに指定された用紙に作図し、下記送付先に受付の締切日を厳守して送付する。

(4) 送付上の注意

- ① 図面ケースは、図を破損しないように、A2判を2つ折りにしたA3判のケースを使用して送付する。※枚数が多い場合は、A3判の箱を自作しても可とする。
- ② 作品送り状は、各学校とも事前登録したものを印刷し、同封する。
- ③ 返送用伝票(「ゆうパック」の着払いまたは料金を支払った伝票)は、必要事項を記入し、同封する。※返送用伝票の指定返却事務処理上「ゆうパック」を希望する。

(5) 作品送付先

〒157-0066

東京都世田谷区成城9-25-1 TEL03-3483-0204

東京都立総合工科高等学校内 東日本建築教育研究会 製図コンクール係 宛

※応募作品の発送(郵送)については、別紙のとおり

(6) 作品受付締切

平成29年11月6日(月)～11月10日(金) 必着(16:00迄)とする。

(7) 参加登録料

会員校(本研究会)以外の参加校は、328円分(82円切手4枚)の切手を同封する。

なお、領収書は後日審査結果の返送時に同封する。

(8) 返送方法

返送用伝票(着払いまたは料金を支払った伝票)を使用して、応募作品・賞状等を送付する。

3 審査方法

製図コンクール運営委員会において審査し、下記賞状を授与する。

金 賞 課題ごとに各 1点

銀 賞 課題ごとに各 3点

銅 賞 課題ごとに各 6点

入 賞 課題ごとに各 10点程度

奨励賞 金・銀・銅賞・入賞の作品を除くすべての応募作品に与える。

※金・銀・銅・入賞は、応募数により増減を考慮する。

4 その他

- (1) 応募作品の著作権や工業所有権等は応募者の所有とする。ただし、作品の公開(展示・出版)については、本研究会が自由に行うことができるものとする。
- (2) 作品送り状の記載欄にて、ホームページ等への記載を希望するか否かを○△×で必ず記入する。
- (3) 賞状は、平成29年12月中旬に発送予定である。
- (4) 作品等の問い合わせは、すべて下記の製図コンクール運営委員長にしてください。
審査会場校にご連絡することは、ご遠慮ください。

千葉県立京葉工業高等学校 建設科 卜部 寿々子 TEL 043-251-4197

- (5) 作品送付先違い、期限が守れない作品は失格となりますので、ご注意ください。

第36回 全国高校生建築製図コンクール 課題1 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成29年11月6日（月）～11月10日（金）必着（16：00迄）

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制	ケント紙 A3 (297×420) 横使い	1 課題名 軒先マワリ詳細図
1 学年		2 要求図面（尺度1：5） （1）軒先マワリ詳細図
2 学年		
定時制		
1 学年		
2 学年		

1 応募学年

全日製の2学年で応募できるのは、専門的な建築の学習を2学年から開始する総合学科や、2学年からコース別選択をする学科等に在籍する生徒のみである。

2 作図上の注意

- (1) 「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】）の製図例1-1（製図例2-6の軒先まわりの詳細図）を模写する。
ただし、引出線の角度はすべて揃え、線の納まりも揃えること。
- (2) 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、それぞれの線を明瞭に力強く描く。
- (3) 文字の形状や大きさなどが不揃いにならないようにする。
- (4) 図形の正確さに留意する。
ア 部材の寸法は、製図例1-1、製図例2-4、製図例2-6を参照する。
イ 小屋梁の径に注意する。
- (5) 天井高さの位置は、製図例2-6を参照する。
- (6) 表題欄は、用紙の右下すみに記入する。
- (7) 寸法・表示記号は、JIS A 0150建築製図通則、「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】本文製図例）を参照する。

3 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品。
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
- (3) ワークプロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
- (4) インキングで仕上げた作品。
- (5) CADデータ等の図面を下に敷いて写したと思われる作品。
- (6) 「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業019】）の製図例1-6の作品。

4 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科、学年、氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題1	木造平家建専用住宅			学校名				10
図名	軒先マワリ詳細図	尺度		学科学年		氏名		
20	60	20	30	20	50	20	40	10

【受付・締切】平成29年11月6日（月）～11月10日（金）必着（16：00迄）

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1学年 2学年	ケント紙 A2 (420×594)	1 課題名 木造平家建専用住宅 2 要求図面（尺度1：100）
定時制 1学年 2学年 3学年	横使い	(1) 配置図兼平面図 (2) 立面図（2面 南面および東面） (3) 断面図（1面） (4) 屋根伏図 ※屋根伏図のみ尺度1：100～1：200

1 作図上の注意

(1) 配置図兼平面図は、ホームページ（<http://www.hnkkk.org/>）からPDFファイルをダウンロードしてください。

(2) 各図面の描き方は、「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】）の第3章に準ずる。

(3) 各図における注意事項

① 配置図は、各自の計画とする。

ア 敷地の形状、道路との関係、方位等は、配置図兼平面図（別紙）のとおりとする。

イ 敷地は平坦で、地盤面と道路面および隣地との高低差はない。

ウ 造園計画、ポーチ、スロープ、ウッドデッキの計画は自由とする。

エ 植栽、屋外駐車スペース等を記入する。

② 平面図は、ホームページ（<http://www.hnkkk.org/>）からPDFファイルをダウンロードした図面（配置図兼平面図）の模写とする。

ア ロフト等を設ける場合は、平面図に位置が分かるように表現する。

イ 断面図の切断位置を記入する。

ウ 室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

③ 立面図は、各自の計画とする。

ア 南面および東面の合計2面とする。

イ 屋根の形状に留意する。

④ 断面図は、各自の計画とする。

ア 切断位置は、開口部を含む部分とする。

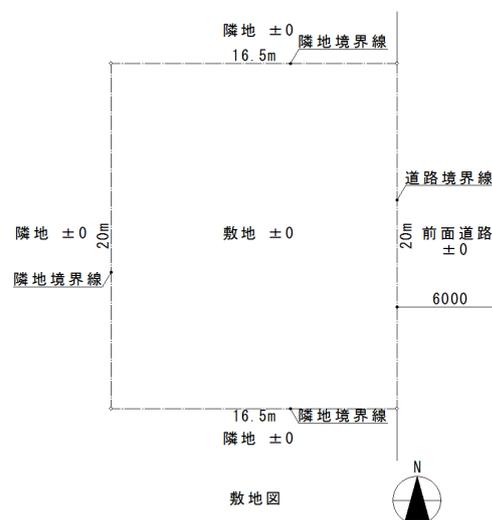
イ 基準地盤面、一般軒高、最高高さ、屋根勾配、軒・けらば等の出、床高、各室の天井高、床の高低差、窓高、開口部の内法高さ、室名を記入する。

⑤ 屋根伏図は、各自の計画とする。

ア 描き方は、製図例2-4を参照する。

イ 屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。

ウ 断面図の切断位置を記入する。



(4) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、それぞれの線を明瞭に力強く描く。また、文字の形状や大きさ、図形の正確さにも留意する。
- ④ 表題欄は、右下すみに記入する。
- ⑤ 寸法・表示記号は、J I S A 0 1 5 0 建築製図通則、「建築設計製図」(実教出版社刊【7 実教 工業305】本文製図例)を参照する。

2 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品。
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
- (3) ワークプロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
- (4) 着色・インキングで仕上げた作品。
- (5) 床仕上げを表現した作品。
- (6) CADデータ等の図面を下に敷いて写したと思われる作品。

3 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科、学年、氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 2	木造平家建専用住宅			学校名				10
図名	配置図兼平面図・立面図 断面図・屋根伏図	尺度		学科学年		氏名		
20	60	20	30	20	50	20	40	

【受付・締切】平成29年11月6日（月）～11月10日（金）必着（16：00迄）

課題番号	用紙	課題名・要求図面
全日制 2学年 3学年	ケント紙 A2 (420×594)	1 課題名 木造2階建専用住宅 2 要求図面（尺度1：100）
定時制 3学年 4学年	横使い	(1) 配置図兼1階平面図 (2) 2階平面図 (3) 立面図（2面 南面および東面または西面） (4) 断面図（1面） (5) 屋根伏図（尺度1：100～1：200） (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみ） (7) 設計主旨

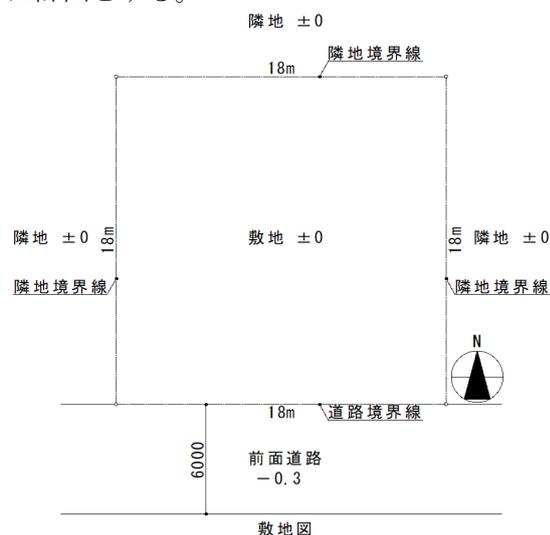
1 設計条件

地方都市の住宅地に建つ専用住宅を計画する。

計画に当たっては、次の(1)～(4)に留意し、高齢者に配慮した計画とする。

(1) 敷地

- ア 形状、道路との関係、方位等は敷地図のとおりである。
- イ 第一種低層住居地域にあり、防火・準防火地域の指定はない。
- ウ 建ぺい率の限度は50%、容積率の限度は100%である。
- エ 電気・水道・ガス・上下水道は完備されている。



(2) 構造・階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

- ア 160m²未満とする。
- イ ピロティ、玄関ポーチ、屋外駐車スペース等は、床面積に算入しない。

(4) 家族構成

老人夫婦、夫（会社員）、妻、子供2人（男子高校生・女子中学生）

2 作図上の注意

(1) 配置図兼1階平面図

- ア 構造に無理がない形状とする。
- イ 敷地と道路との高低差(0.3m)に留意する。
- ウ 敷地境界線と建築物との距離、建築物の寸法を記入する。
- エ 植栽、屋外駐車スペース等を記入する。
- オ 平面図の壁は塗りつぶさず、柱等を記入する。
- カ 断面図の切断位置を記入する。
- キ 台所設備機器(流し台、調理台、ガス台、冷蔵庫等)、浴槽、洗面器、便器、洗濯機を記入する。
- ク 家具は記入する。
- ケ 通し柱を○で記入する。
- コ 階段には必ず手すりを記入する。
- サ 室名をその室内に記入する。
- シ 室の床仕上げ表現はしない(畳の線は記入する)。

(2) 2階平面図

- ア 平家部分がある場合には，1階屋根伏図も記入する。
- イ 2の(1)のオからシを適用する。

(3) 立面図

- ア 南面および東面または西面の合計2面とする。
- イ 屋根の形状に留意する。

(4) 断面図

- ア 切断位置は，1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。
- イ 基準地盤面，一般軒高，最高高さ，屋根勾配，軒・けらば等の出，床高，各室の天井高，床の高低差，窓高，開口部の内法高さ，室名を記入する。

(5) 屋根伏図

- ア 描き方は，製図例2-4を参照する。
- イ 屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。
- ウ 断面図の切断位置を記入する。

(6) 面積表

- ア 建築面積，各階床面積および延べ面積を記入する。
- イ 数値は，小数点以下第2位までとし，第3位以下は切り捨てる。

(7) 設計主旨

- ア 設計条件について留意した点を，200文字程度で記入する。
- イ 図面余白に記入する。

(8) その他

- ア 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。
- イ 図面の種類および尺度は規定に従う。なお，要求図面以外は不要である。
- ウ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし，それぞれの線を明瞭に力強く描く。また，文字の形状や大きさ，図形の正確さにも留意する。
- エ 表題欄は，右下すみに記入する。
- オ 寸法・表示記号は，J I S A 0 1 5 0 建築製図通則，「建築設計製図」(実教出版社刊【7実教 工業305】本文製図例)を参照する。

3 失格事項

- (1) 指定された用紙以外の作品。
- (2) 文字や数字等に型板を使用した作品。
- (3) ワープロ等の文字や数字等を下に敷いて写した作品。
- (4) 着色・インキングで仕上げた作品。
- (5) 床仕上げを表現した作品。
- (6) CADデータ等の図面を下に敷いて写したと思われる作品。

4 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科，学年，氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 3	木造2階建専用住宅			学校名				10
図名	配図図表1階平面図・2階平面図 立面図・断面図・屋根伏図	尺度		学科学年	氏名		10	
20	60	20	30	20	50	20	40	

【受付・締切】平成29年11月6日（月）～11月10日（金）必着（16：00迄）

応募学年	用紙	課題名・要求図面
全日制 1学年 2学年 3学年	普通紙 A2 (420×594) 横使い	1 課題名 木造平家建専用住宅（CAD製図） 2 要求図面（尺度1：100） (1) 配置図兼平面図 (2) 立面図（2面 南面および東面） (3) 断面図（1面） (4) 屋根伏図 ※屋根伏図のみ尺度1：100～1：200
定時制 1学年 2学年 3学年		

1 作図上の注意

(1) 配置図兼平面図は、ホームページ (<http://www.hnkkk.org/>) からPDFファイルをダウンロードしてください。

(2) 各図面の描き方は、「建築設計製図」（実教出版社刊【7実教 工業305】）の第3章に準ずる。

(3) 各図における注意事項

① 配置図は各自の計画とする。

ア 敷地の形状、道路との関係、方位等は、配置図兼平面図（別紙）のとおりとする。

イ 敷地は平坦で、地盤面と道路面および隣地との高低差はない。

ウ 造園計画、ポーチ、スロープ、ウッドデッキの計画は自由とする。

エ 植栽、屋外駐車スペース等を記入する。

② 平面図は、ホームページ (<http://www.hnkkk.org/>) からPDFファイルをダウンロードした図面（配置図兼平面図）の模写とする。

ア ロフト等を設ける場合は、平面図に位置が分かるように表現する。

イ 断面図の切断位置を記入する。

ウ 室の床仕上げ表現はしない（畳の線は記入する）。

③ 立面図は、各自の計画とする。

ア 南面および東面の合計2面とする。

イ 屋根の形状に留意する。

④ 断面図は、各自の計画とする。

ア 切断位置は、開口部を含む部分とする。

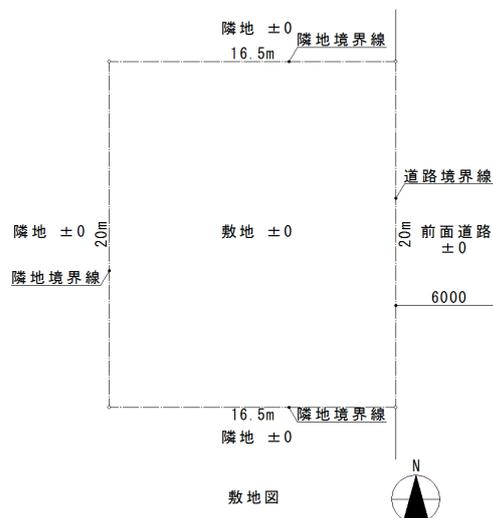
イ 基準地盤面、一般軒高、最高高さ、屋根勾配、軒・けらば等の出、床高、各室の天井高、床の高低差、窓高、開口部の内法高さ、室名を記入する。

⑤ 屋根伏図は、各自の計画とする。

ア 描き方は、製図例2-4を参照する。

イ 屋根仕上げ材料の名称と水勾配を記入する。

ウ 断面図の切断位置を記入する。



(4) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが、配図に留意する。
- ② 図面の種類および尺度は規定に従う。なお、要求図面以外は不要である。
- ③ 線の種類や太さなどの使い分けを正確にし、文字の大きさ、図形の正確さにも留意する。
特に、印刷時の設定に留意する。
- ④ 表題欄は、用紙の右下すみに作図する。
- ⑤ 作品を2部提出する（指定用紙はA2であるが、A3を2枚貼り合わせても可とする。その場合は、A2サイズより若干小さくなるが、きちんと貼り合わせること）。
- ⑥ 過去に作成したCADデータの流用は行わない。
- ⑦ JIS A 0150建築製図通則を参照する。

2 失格事項

- (1) 作品を2部提出していない場合。
※審査時に書き込みを入れるため、必ず必要となる。
- (2) モノクロ印刷以外の作品。
- (3) 平面図から自動的に立面図や断面図を描いた作品。

3 表題欄

- (1) 学校名は都道府県から正確に書いてください。
- (2) 学科、学年、氏名は略字や省略をせずに正確に書いてください。

課題 4	木造平家建専用住宅(CAD製図)			学校名				10 10
図名	配置図兼平面図・立面図 断面図・屋根伏図	尺度		学科学年		氏名		
20	60	20	30	20	50	20	40	

第36回 全国高校生建築製図コンクール 課題5 要項

主催：東日本建築教育研究会

【受付・締切】平成29年11月6日（月）～11月10日（金）必着（16：00迄）

課題番号	用紙	課題名・要求図面
全日制 2学年 3学年	A2 (420×594) 横使い	1 課題名 木造2階建専用住宅（CADプレゼンテーション作品） 2 要求図面（尺度：自由）
定時制 3学年 4学年	※色や紙質 は自由	(1) タイトル (2) 設計主旨（200字程度とし、図面の余白に記入する） (3) 配置図兼1階平面図（造園計画，駐車スペースを図示） (4) 2階平面図（平家がある場合には，1階屋根伏図も記入） (5) パースまたは模型写真 (6) 面積表（建築面積・各階床面積・延べ面積のみでよい） (7) その他立面図・断面図等必要と思われるもの

1 設計条件

地方都市の住宅地に建つ専用住宅を計画する。

計画に当たっては，次の（1）～（4）に留意する。

(1) 敷地

- ア 形状，道路との関係，方位等は敷地図のとおりである。
- イ 第一種低層住居地域にあり，防火・準防火地域の指定はない。
- ウ 建ぺい率の限度は50%，容積率の限度は100%である。
- エ 電気・水道・ガス・上下水道は完備されている。

(2) 構造・階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

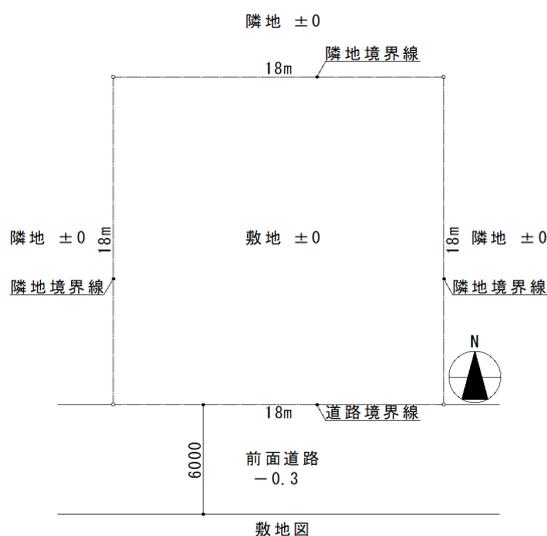
- ア 160㎡未満とする。
- イ ピロティ，玄関ポーチ，屋外駐車スペース等は，床面積に算入しない。

(4) 家族構成

老人夫婦，夫（会社員），妻，子供2人（男子高校生・女子中学生）

(5) その他

- ① 図面の配列順序は自由であるが，配図に留意する。
- ② 線，面ともにカラー出力でも可とする。
- ③ 模型の写真そのまま貼り付けることは可とする。
- ④ パースは内観でも外観でも可とする。
- ⑤ 作品の裏面右下に，学校名・学科・学年・氏名をレイアウトする（手書きでも可）。
- ⑥ 作品を2部提出する（指定用紙はA2であるが，A3を2枚貼り合わせても可とする。その場合は，A2サイズより若干小さくなるが，きちんと貼り合わせること）。
- ⑦ 過去に作成したCADデータの流用は行わない。
- ⑧ JIS A 0150建築製図通則を参照する。



敷地図

2 失格事項

- (1) 作品を2部提出していない場合。※審査時に書き込みを入れるため，必ず必要となる。
- (2) 作品の表面に，学校名・学科・学年・氏名を書いた作品。
- (3) 作品の裏面右下に，学校名・学科・学年・氏名を書き忘れた作品。
- (4) オリジナルで表現せず，インターネット等から写真やイラストを入手したと思われる作品。
※HP素材サイト等の使用及び作品の一部や全体が他者の著作物を侵害するものである場合。

作品の送り状について

主催：東日本建築教育研究会

第36回 全国高校生建築製図コンクール作品送り状				※名簿番号 12-04	70
学校名	千葉県立京葉工業高等学校			全日制	
住所	〒263-0024 千葉県千葉市稲毛区穴川4-11-32				
担当者氏名	担当者を記入			TEL	043-251-4197
				FAX	043-251-9717
課題番号	応募作品数 校内作品審査数	学科学年	生徒氏名	※作品番号 記入しないでください	HP 金賞 銀賞
1 軒先マワリ 詳細図	応募作品数	建設 科 1 学年	生徒名を記入		○ ○
	校内作品審査数	科 学年			
		科 学年			
2 木造平家建 専用住宅		科 学年			
		科 学年			
		科 学年			
3 木造2階建 専用住宅		科 学年			
		科 学年			
		科 学年			
4 木造平家建 専用住宅 (CAD製図)		科 学年			
		科 学年			
		科 学年			
5 木造2階建 専用住宅 (プレゼンテーション作品)		科 学年			
		科 学年			
		科 学年			

1 記入上の注意

(1) 賞状への記載およびホームページ(HP)等への掲載時に訂正が無いように、以下の点に注意して記入して下さい。

① 学校名は都道府県から正確に記入して下さい。

② 学科、学年、生徒氏名は、略字や省略をせずに正確に記入して下さい。

③ HP欄左側は、金賞の場合→氏名と作品両方の掲載を希望するには「○」を、作品だけの掲載を希望するには「△」を、氏名も作品も掲載することを希望しないには「×」を記入して下さい。HP欄右側は、銀賞以下の場合→結果報告の入賞者欄に氏名の掲載を希望するには「○」を、氏名の掲載を希望しないには「×」を記入して下さい。

(2) 統計のため、各課題別に校内選考作品審査数を分母に、応募作品数を分子に記入して下さい。

(3) 応募作品数は、各課題とも必ず3点以内として下さい。

作品送り状の使い方

70

※上記に名簿の通し番号を入力してください。

①上記の赤色のセルに「名簿シート」にある【通し番号】を入力すると、ピンク色の場所が自動で表示されます。

※データ表示（ピンク色の場所）に誤りがある場合は、お手数ですが手入力してください。**Delete**キーもしくは**BackSpace**キーで簡単にクリア（削除）できます。

②水色の場所は入力規則機能が設定されており、クリックすると学科等が表示されます。
※セルをクリックすると、セルの右上に逆三角形（▽）が表示されるので、適切なものを選択してください。

③黄色の場所はお手数ですが、入力してください。

平成29年10月1日（日）～11月10日（金）16:00迄に所定事項を記載し、メールで作品送り状を事前登録してください。

「事前登録先 seizu.con@gmail.com」

件名：学校名
添付ファイル名：学校名

第36回 全国高校生建築製図コンクール作品送り状

学校名	千葉県立京葉工業高等学校		全日制
住所	〒263-0024 千葉県千葉市稲毛区穴川4-11-32		
担当者氏名	担当者を記入	TEL	043-251-4197
		FAX	043-251-9717

課題番号	応募作品数	学科学年	生徒氏名	※作品番号 記入しないでください	HP	
	校内作品 審査数				金賞	銀賞以下
1 軒先マワリ 詳細図	応募作品数	建設 科 1 学年	生徒名を記入		○	○
	校内作品 審査数	科 学年				
		科 学年				
2 木造平家建 専用住宅		科 学年				
		科 学年				
		科 学年				
3 木造2階建 専用住宅		科 学年				
		科 学年				
		科 学年				
4 木造平家建 専用住宅 (CAD製図)		科 学年				
		科 学年				
		科 学年				
5 木造2階建 専用住宅 (プレゼンテーション作品)		科 学年				
		科 学年				
		科 学年				

1 記入上の注意

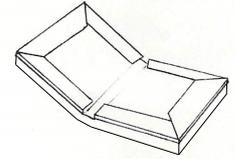
- (1) 賞状への記載およびホームページ(HP)等への掲載時に訂正が無いように、以下の点に注意して記入して下さい。
 - ① 学校名は都道府県から正確に記入して下さい。
 - ② 学科, 学年, 生徒氏名は, 略字や省略をせずに正確に記入して下さい。
 - ③ HP欄左側は, 金賞の場合→氏名と作品両方の掲載を希望するには「○」を, 作品だけの掲載を希望するには「△」を, 氏名も作品も掲載することを希望しないには「×」を記入して下さい。
HP欄右側は, 銀賞以下の場合→結果報告の入賞者欄に氏名の掲載を希望するには「○」を, 氏名の掲載を希望しないには「×」を記入して下さい。
- (2) 統計のため, 各課題別に校内選考作品審査数を分母に, 応募作品数を分子に記入して下さい。
- (3) 応募作品数は, 各課題とも必ず3点以内として下さい。

応募作品の発送（郵送）・返送および事前登録等について

主催：東日本建築教育研究会

作品を発送する梱包ケース、同封するものについて

- 発送時の梱包ケース「A2判を2つ折りにしたA3判のケース（右図参照）」を用意したか？ ※枚数が多い場合は、A3判の箱を用意したか？
- 作品は、各課題3点以内か？
- 課題4と課題5を応募する場合は、2枚印刷しているか？（1枚の場合は失格となります。）
- 事前登録した作品の送り状を印刷し、1部同封したか？
- 着払い伝票もしくは、それに代わるものを同封したか？
- 東日本建築教育研究会の会員校以外は、参加登録料328円分（82円切手4枚）、を用意したか？



1 作品送り状の事前登録について

※作品送り状の入手：本研究会のホームページよりダウンロードする。

- 平成29年10月1日（日）～11月10日（金）16：00迄に事前登録をしたか？

「事前登録先 seizu.con@gmail.com」

件名：学校名
添付ファイル名：学校名

- 事前登録の「確認返信」が、あったか？
- 事前登録後、作品の変更等があった場合は、再度登録をし直したか？
※事前登録しても作品が受付締切日迄に届かない場合は、応募を取り消します。

2 作品の返送の「ゆうパックの着払い伝票」などについて

- 着払い伝票を準備し、記載漏れが無いのか？
 - お届け先を記入したか？
 - ご依頼主を「同上」と記入したか？
 - お届け通知を「不要に○」を付けたか？
 - 配達時間帯に○を付けたか？
※希望する時間があれば、希望時間帯に○
 - 品名を「図面」と記入したか？
- 着払い伝票を使用しない場合
 - 切手の場合 → 必要な郵送分の切手を用意したか？



3 発送（元払い伝票）について

- お届け先（審査会場校）は記入したか？

〒157-0066

東京都世田谷区成城9-25-1 TEL03-3483-0204

東京都立総合工科高等学校内 東日本建築教育研究会 製図コンクール係 宛

- 配達希望日および配達希望時間帯は、
 - 平成29年11月6日（月）～11月10日（金）必着（16：00迄）にしたか？
※期限を過ぎて到着した作品は失格となります。時間に余裕を持って郵送してください。